

Public Information Furubira

広
報

ふるびら

2014[平成26年]

11月号

No.468



10月13日 第39回古平ロードレース大会
(撮影場所:中島スポーツレクリエーション広場)

平成25年度決算 7年連続黒字

9月に行われた第3回町議会定例会で、平成25年度一般会計、各特別会計の決算が認定されました。

今月号では、皆さんに収めていただいた税金などがどのように使われたのか、平成25年度決算の概要をお知らせします。

◇一般会計

福祉や教育、道路整備など町運営の基本となる会計

◇特別会計（5会計）

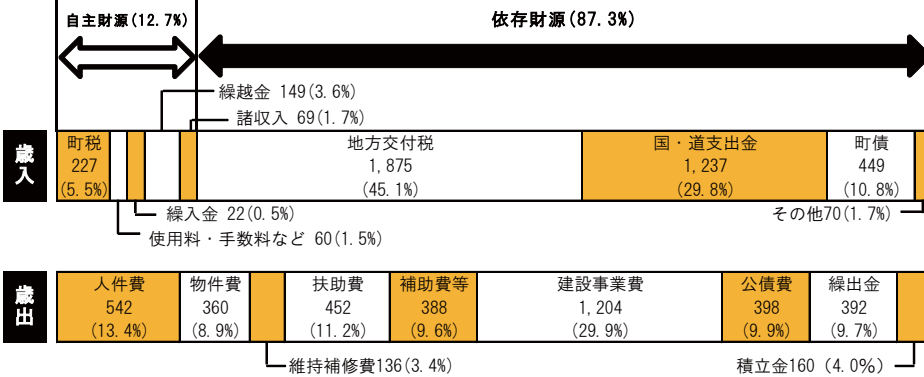
国民健康保険、下水道事業など特定の事業について、収支を明確にするために一般会計と分けて設置する会計

※特別会計に資金不足が生じた場合、一般会計のお金を繰り出して補てんすることもあるため、両会計は密接な関係にあります。

一般会計の決算状況

歳入総額は41億5698万円で、歳出総額は40億3181万円、差引き1億2517万円でした。これに、基金（貯金）の積立額や取崩し額を勘案すると約1億918万円が実質的黒字額となります。

表1 一般会計の決算状況 (単位：百万円)



■歳入の自主財源は1割を切る

歳入の内訳では、国や道に頼った依存財源が87・3%で、町の自主財源は12・7%でした。自主財源の中には基金(貯金)の取崩し2174万円、前年度繰越金1億4906万円が含まれており、町税等の純粋な自主財源は3億5587万円と全体の8・5%にとどまっています。(表1参照)

■建設事業費は前年度の2倍

歳出40億3181万円を性質別に分けると、人件費・扶助費・公債費(借金返済)の「義務的経費」が13億9156万円と全体の34・5%、建設事業費は高齢者複合施設や水産物流通荷捌所などの大型事業が複数あったため対前年度6億4985万円増の12億390万円増で29・9%を占めています。

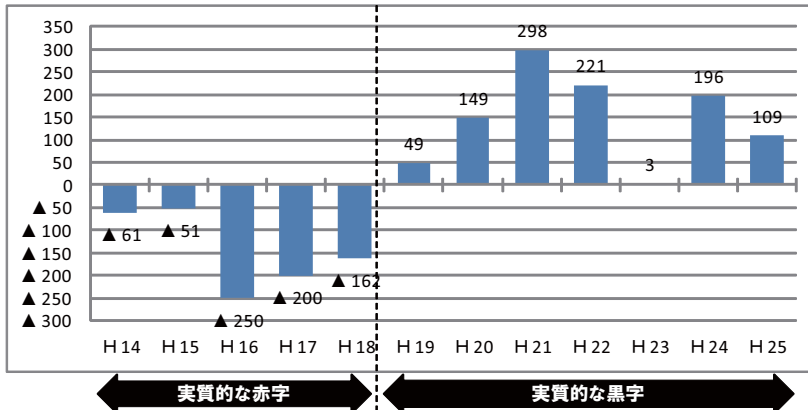
■7年連続黒字決算

平成25年度決算では、高齢者複合施設整備に4億3532万円、水産物流通荷捌所整備に3億2100万円、防災無線(同報系)整備に2億8298万円など大型事業が複数ありましたが昨年に引き続き1億918万円の黒字となりました。(表2参照)

これは、国からの臨時交付金(地

域の元気臨時交付金)があつたことや地方交付税を一定額の確保できたこと、第2次行財政構造改革プランを推進したことが主な要因です。

表2 実質的単年度収支の推移 (単位：百万円)



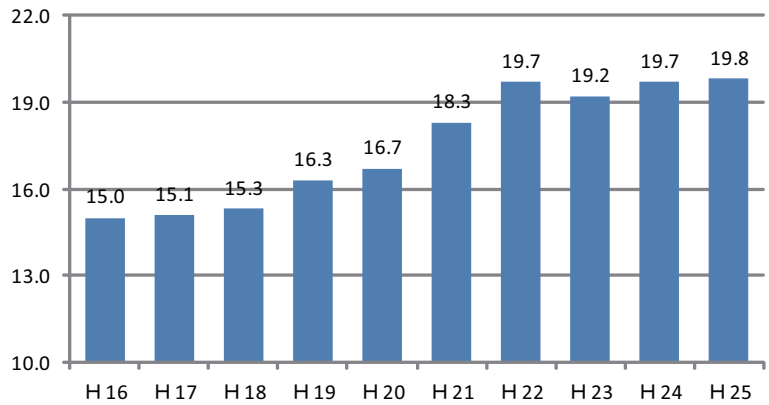
■地方交付税は19億円台確保

歳入の45%を占める国からの「地方交付税」は三位一体改革などにより平成18年度より減少傾向でしたが、平成19年度から国の政策転換により算定方法が見直され、平成25年度も19億円台を確保しました。(表3参照)

■基金残高は13億900万円
古平町は、国からの地方交付税に大きく依存しており、この交付税が減ると財政悪化に陥ります。交付税が減っていた平成18年度までは、基金（貯金）を取崩して財政運営を行っていたため、4億1900万円まで減りましたが、現在は交付税の増加に伴って13億900万円まで増えました（表4参照）
なお、自由に使うことのできる財

表3 地方交付税の推移

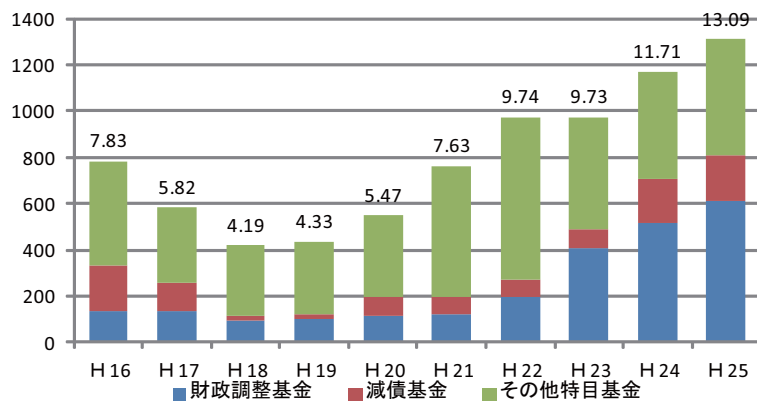
(単位：億円)



■滞納額は9622万円
税金や保育料、公営住宅の家賃などで平成25年度までに納められなかった金額は9622万円となっています。（表5参照）この滞納額解消のためにさまざまな対策を検討しています。

表4 基金残高の推移

(単位：億円)



政調整基金と減債基金は、それぞれ6億830万円と2億円となっています。

特別会計の決算状況
特別会計は、特定の事業を行うための会計で一般会計と分けて収支を明確に区分しています。
後期高齢者医療特別会計は5万円の黒字、介護保険サービス事業特別会計は1800万円の黒字となっており、それぞれ翌年度へ繰越されました。

■健全財政の維持に努める
平成18～22年の行財政構造改革プランによってスリムになった財政状態をベースに、現在も平成27年度までに第2次行財政構造改革プランを推進し、健全財政の維持に努めています。

【表5】平成25年度末までの滞納額

一般会計	滞納額
個人町民税	1,429万円
法人町民税	6万円
固定資産税	1,080万円
軽自動車税	25万円
都市計画税	162万円
公営住宅使用料	387万円
幼児センター保育料	43万円
国民健康保険税	4,402万円
後期高齢者医療保険料	55万円
公共下水道事業受益者負担金	14万円
下水道使用料	219万円
水道料金	1,800万円

表6 特別会計 歳入・歳出決算額

会計名	歳入決算額	うち一般会計からの繰入金	歳出決算額	差引額
国民健康保険事業	2億3,608万円	8,912万円	2億3,608万円	0万円
後期高齢者医療	5,964万円	2,703万円	5,959万円	5万円
簡易水道事業	1億8,356万円	2,312万円	1億8,356万円	0万円
公共下水道事業	2億5,831万円	1億2,197万円	2億5,831万円	0万円
介護保険サービス事業	5,446万円	0万円	3,718万円	1,728万円

簡易水道事業特別会計は基金の崩しにより、国民健康保険事業特別会計と公共下水道事業特別会計は一般会計からの赤字補てんで収支の均衡を図りました。（表6参照）

平成25年度の主な事業

平成25年度に実施した概ね1000万円以上の主な事業の内容については次のとおりです。

【教育・子育て】

- ◆ 幼児センター運営事業（6721万円）
保育所と幼稚園の機能を併せ持つ幼児センターの運営事業
- ◆ 学校給食センター運営事業（2102万円）
小中学校の給食を作る給食センターの運営事業
- ◆ 海洋センター管理運営事業（1404万円）
町民が気軽に体を動かすことのできる施設、海洋センターを運営する事業
- ◆ 海洋センター施設更新事業（2720万円）
海洋センター体育館の屋根の改修と館内暖房機の改修事業

【健康・福祉】

- ◆ 元氣プラザ管理運営事業（3201万円）
元氣プラザ内の地域包括支援センターと生活支援ハウス（高齢者が居住する部分）を管理運営する事業
- ◆ 高齢者複合施設整備事業（4億3532万円）

旧古平高校を改築し、高齢者住宅や介護サービス施設を整備する事業



高齢者複合施設
「ほほえみくらす」

- ◆ 障害者就労継続支援施設整備事業（4206万円）
古平福祉会が整備する障害者就労継続支援施設「きょうどう」への補助金支出事業
- ◆ 重度心身障害者医療費助成事業（1939万円）
重度心身障害者の医療費の一部を助成する事業
- ◆ 障害者自立支援事業（3億8776万円）
障がい者（児）が法律に定められた福祉サービスを利用した際の費用を助成する事業
- ◆ 児童手当事業（3301万円）
3歳未満と中学生までの第3子に月1万5千円、3歳以上中学生までの子に月1万円を支給する事業

【生活・環境】

- ◆ 町道小学校通線道路改築事業（3312万円）
小学校の新築に伴い、児童の通学路を整備する事業
- ◆ 町道除排雪事業（9581万円）
冬期間の町道除雪、運搬排雪事業
- ◆ 町道維持管理事業（1460万円）
町道を安全に通行できるように維持管理する事業
- ◆ 公営住宅維持管理事業（1600万円）
公営住宅の修繕等の維持管理事業
- ◆ 老朽管更新事業（3246万円）
老朽化した配水管を交換する事業
- ◆ じん芥処理事業（2713万円）
ごみを収集、運搬、処理する事業
- ◆ クリーンセンター運営事業（1203万円）
燃やせないごみや粗大ごみを処理するクリーンセンターを運営する事業
- ◆ 防災無線（同報系）整備事業（2億8298万円）
住民に一齐に情報を伝達するシステムとして防災無線を整備する事業



役場に設置した親局

◆ 消防・救急事業（1億5804万円）
町民の生命と財産を守る古平消防を運営する事業

◆ 災害対策事業（1072万円）
災害対策としてハザードマップの作成や防災備品を購入する事業

【産業・観光】

◆ 水産物流通荷捌所整備事業（3億2100万円）
老朽化した水産物の積み下ろしや販売等を行う荷さばき施設を新しく整備する事業



水産物流通荷さばき施設

◆ プレミアム商品券発行事業（600万円）
商工会が1万円で販売する1万2千円分の商品券の2千円分を補助する事業

第47回文化祭発表会

◆開催日時
11月3日(月) 午前10時〜

◆開催場所
文化会館(太陽ホール)

◇詳細・お問合せ先
教育委員会 生涯学習係
担当 小原・小笠原
☎42-2300

第47回 文化祭発表会出演団体

1. 日本詩吟学院岳風会共和支部古平道場
2. たらつり節踊り愛好会
3. 古平中学校吹奏楽部
4. 古平女声コーラス「ハイミッシュコール」
5. 友光会
6. 西川流峰香会
7. 花柳美乃多希会
8. 古平正調越後盆踊り保存会
9. 古平カラオケ愛好会
10. グループサウンドワールド大正琴古平サークル



お茶会 昨年の様子

秋桜の会 お茶会
午前10時30分〜
午後2時
文化会館 2階ロビー



大正琴古平サークル 昨年の様子

平成26年度温泉優待券を配布しています

古平町に住所を有する満75歳以上の方を対象に、古平町温泉保養センターの優待券(入館無料回数券)を配布しています。



○対象者
昭和15年4月1日以前に生まれた方

○配布申請
22枚綴1冊を、申請された使用者本人にお渡しします。
代理人への配布はできませんので、温泉利用の折に本人が申請してください。
また、トラブル防止のため申請の際には本人が署名捺印してください。

○使用
配布を受けた入館無料回数券は、本人以外の方は使用できません。

○使用期間
平成27年3月31日まで

○受付
随時受付

○その他
申請書に印鑑が必要ですので、ご持参ください。
入館無料回数券は、お申し込み次第にお渡しします。

※優待券は、75歳となった本人に配布されるもので本人以外は利用できません。夫婦間で譲り受けることも禁止です。本人以外の利用を発見した場合は、今後の配布について検討します。
ルールを守って気持ち良くご利用ください!

◇申込・お問合せ先
日本海ふるびら温泉「しおかぜ」
☎42-2290



第3回定例会 行政報告（抜粋）

9月25日に開会した第2回定例会で町長が「行政報告」、教育長が「教育行政報告を行いました。」

総務企画関係

■ふるさと納税者に特産品贈呈
水産加工業を支援し「ふるびらタラコ」のブランドと雇用の確保をするための対策の一つとして、9月1日から、ふるさと納税をされた方に対して水産加工品の贈呈を始めました。9月19日現在500件の申出があり、これを呼び水として販路拡大につなげていきたいと思えます。

津波避難訓練の実施

沖町、沢江町、浜町地区の11町内会を対象に9月6日、津波避難訓練を実施しました。296人が小学校などに避難し、ほとんどの方が津波到着予想時間までに避難完了できました。また地震・津波に関する講演会も行い災害に対する意識向上につながったと考えています。

税財政関係

■普通交付税は対前年比2・1%減
平成26年度の普通交付税が7月25

日に決定となり、対前年比3467万3千円減（2・1%減）の16億5188万5千円となりました。

民生関係

国民健康保険税

納付書の通知は7月7日付けで終了しており、件数は対前年比3・6%減の746件、当初調定額は9・4%減の8948万円となっております。なお、国民健康保険証の有効期間が9月末日で終了するため、16日から22日まで各集会所及び夜間窓口を開設し、交付を行っています。

保健福祉関係

盆踊り大会

古平町高齢者施設連絡協議会が中心となり8月20日、盆踊り大会を開催しました。約180名が来場し盆踊りのほかかき氷やヨーヨーすくいなどの縁日も催され賑やかなひと時を過ごすことができました。

敬老会

9月10日、数え年77歳以上の方170名と来賓10名の総勢180名が文化会館太陽ホールに集い実施。小学5・6年生によるたらつり節踊

りや越後盆踊りなど2時間ほどの短い時間ではありましたが、敬老の祝いをすることができたと思っています。

産業関係

作柄状況

水稲の生育は順調に進み9月中旬から稲刈りが始められております。ジャガイモは雨不足のため小ぶりとなっておりですが、カボチャは平年並みの収穫が予想されています。

農業委員会委員選挙

3年に一度の統一選挙が7月1日に告示され、委員定数7名に対して6名の届け出があり、無投票当選が確定し、会長に池田範彦氏、会長職務代理者に澤口良介氏が選任されました。なお、政府が閣議決定した「規制改革実施計画」により、農業委員選挙は今回が最後となる見通しです。

林道・治山工事関係状況

林業専用道鼻垂石線整備工事は12月9日の工期に向けて施工中であり、9月10日現在で進捗率10%です。西の沢川予防治山工事の谷止工3基の工事は進捗率51・8%で工期が12月24日まで延長となりました。国が発注する丸山治山工事は既に完了しています。

漁協第1回通常総会

6月27日に開催された第1回通常総会で、第10事業年度（平成25年

度）の販売取扱額22億3500万円、平成25年度繰越欠損金（累積赤字）564万9千円が解消されたと報告がありました。

8月末漁獲状況

数量で1406ト（前年同月比170ト）、10・8%減）、金額では5億9924万円（前年同月火3949万円、7%増）となっており、ほっけ、たこ、ウニが単価高で扱い高が上回っているものの、ニシンは極端な不漁となっています。また、今月解禁となった秋サケ漁も不漁だった昨年を約3割下回る予測がされており、定置網漁の操業開始を9日まで遅らせる自主規制をしたところです。

事業関係

エゾバフンウニ人工種苗については6月17日、群来、丸山、沖地先に放流を終了しました。今冬には、ナマコの人工種苗を港内に放流し成長や生残率の調査を行う予定です。製氷・貯氷施設整備事業の進捗率は10%と伺っています。

水産加工関係

今年2月に経営破たんした6社のうち1社が新会社を設立し、近く操業開始する連絡がありました。一方、町内離職者の動向を調査したところ未だ就業していない離職者もおり再就職へ向けて更に対策を進めていか

なければならぬと考えています。

■商工会関係事業

9月30日から3000万円分のプレミアム商品券を発行します。また、「古平町賑わい活性化事業」として地元食材を使用した料理の試食会やグルメ料理コンテスト、マスコットキャラクターの募集などが実施されることとなり、町としても地域経済及び商店街活性化のため応援してまいります。

■温泉利用状況

温泉「しおかぜ」の8月末の利用者数は3万408人で前年同期と比べて141人、0.5%減少となっております。なお、一昨年より開催している「しおかぜ夏まつり」は8月2日に行われ、約525人の来場がありました。

■海水浴場・家族旅行村・パークゴルフ場利用状況

歌棄海水浴場の利用者数は5789人と前年同期比（7～8月夏休み時期30日間）23人増とほぼ横ばいで、家族旅行村の8月末時点での利用者数は前年同期比29人、3.9%減の2835人となっております。あいらんど広場パークゴルフ場の利用者数は2714人で前年同期比224人、9%増となりました。

建設水道関係

■国の実施する主な工事

国道5号の新忍路トンネル掘削工事は平成29年2月までの工期で進捗率20%となっております。今年度中に完成予定の国道229号梅川登坂車線整備工事は路盤工及び法面工部分が72%、舗装及び防護柵部分は32%となっております。

■道の実施する主な工事

古平川流下阻害解消工事は古平大橋から古平中学校体育館までの区間の体積土砂1万m³を掘削予定です。丸山川砂防工事は昨年引き続き1号えん堤の左岸部を施工するため、古平温泉までの道路の一部を車両通行止めとしたところです。

■町の実施する工事

9月17日現在の工事の進捗状況は表1のとおりです。

表1 町の実施する工事

工事名	工期末	進捗率
清丘団地解体工事	10月31日	90%
中央団地屋根改修工事	11月28日	30%
栄団地屋根改修工事	11月28日	25%
栄団地内窓改修工事	11月28日	5%
丸山川河口護岸改修工事	3月13日	0%
古平浄水場屋根改修工事	9月30日	95%
栄通線・7条小路線配水管布設替工事	10月31日	80%
大通・千才・恵比寿通線配水管布設替工事	11月28日	25%

教育行政報告（抜粋）

学校教育関係

■小学校の教科書採択

小学校で平成27年度以降使用する教科用図書が、第4地区（後志）教科書採択協議会を経て8月4日に決定しました。採択の理由や議事録については教育委員会事務局において閲覧できるようになっています。

■高校説明会

7月8日、14日の2日間、高校説明会が行われ、受験を控えた3年生はもちろん、1・2年生や保護者の方々も各高校の説明に真剣に耳を傾けていました。

■夏季休業中に補習

夏季休業中、小中ともに事故もなく2学期始業式を元気に迎えることができました。また、夏季休業中には小中ともに教職員の協力をいただき、チャレンジ教室や補習タイムを行いました。

■中学校部活動関係

バドミントン部が8月1日から北斗市で開催された全道大会に出場しましたが、男子ダブルス・シングルスともに2回戦敗退という結果でした。吹奏楽部は8月7日に札幌コン

サートホールKITARAで開催された吹奏楽コンクール札幌地区大会に出場し、銅賞を獲得しました。

■新ALIT

アーセル・ロバート（カナダ出身）を新たに迎え、引き続き小学校の外国語活動や中学校の英語の授業に従事していただいています。

■全国学力学習状況調査

8月25日に文部科学省から全国学力学習状況調査の結果が公表されましたが、本町の児童生徒の結果については全国、全道と比較して低い結果に終わりました。今後、調査結果の分析を行い教育施策の改善に向けて計画的な取り組みを進めていかなければなりません。

■小学校マラソン大会

体力づくりの一環として昨年度より行われている校内マラソン大会が9月19日に行われ、全員が完走することができました。本年度より新記録樹立者に教育長賞としてメダルを授与することとなりました。

■給食用玄米は今後も古平産米を使用

古平町農業協同組合の解散に伴い給食用玄米の供給について検討してきましたが、新おたる農業協同組合との話し合いで、引き続き古平産米を使用できるとなりました。

生涯学習関係

■わんぱく王国・たけなわ学級

少年少女わんぱく王国とたけなわ学級については予定どおり事業を実施しており、来年3月に迎える修了式までには10回程度の事業が行われる予定です。

■野球スポーツ少年団活動状況

6月21日に行われた後志少年野球大会は1回戦、7月6日に古平町で開催された浅井えり子旗少年野球大会では2回戦で敗退となりました。

■小学生水泳教室

毎年、小学生を対象として夏休みに行っている水泳教室を7月28日から30日の3日間行い、25名の児童が参加しました。

■放課後ふるびら塾

毎週木曜日に行っている放課後ふるびら塾は、低学年の児童の参加が増えてきており、家庭学習の習慣が根付いてくれることを願っています。

第3回定例会で審議された案件

9月25日から開会した第3回定例会では、次の案件が審議されました。

〈議案第38号〉

〈原案可決〉

平成26年度古平町一般会計補正予算(第4号)

現行予算に1億2632万2千円を追加し予算総額を34億1725万6千円とするものです。主な内容は社会保障・税番号制度導入に係る費用等を増額補正するものです。

〈議案第39号〉

〈原案可決〉

古平町立古平小学校建設基金条例を廃止する条例案

小学校の建設が終わったため条例を廃止するものです。

〈議案第40号〉

〈原案可決〉

古平町重度心身障害者及びひとり親家庭等医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例案

「北海道医療給付事業の取扱について」及び「母子及び寡婦福祉法」の改正に伴う改正です。

〈議案第41号〉

〈原案可決〉

戸籍総合システム機器の取得について

戸籍総合システム機器の取得につ

いて、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条に基づき、議会の議決を求めるものです。

〈議案第42号〉

〈原案可決〉

北海道市町村職員退職手当組合規約の一部を変更する規約について

古平町も加入している右の組合の構成団体に加入等があり、規約を変更するため、地方自治法第290条に基づき、構成団体の議会の議決を求めるものです。

〈議案第43号〉

〈原案可決〉

平成26年度古平町一般会計補正予算(第4号)

現行予算に3454万2千円を追加し予算総額を34億5179万8千円とするものです。主な内容はふるさと納税贈呈品事業に係る費用等を増額補正するものです。

〈報告第2号〉

〈報告承認〉

平成25年度決算に基づく健全化判断比率について

地方公共団体の財政健全化に関する法律第3条第1項の規定により報告するものです。

〈報告第2号〉

〈報告承認〉

平成25年度決算に基づく資金不足比率について

地方公共団体の財政健全化に関する法律第22条第1項の規定により報告するものです。

〈同意第2号〉

〈原案同意〉

古平町教育委員会委員の任命について

古平町教育委員会委員として小田嶋竜子氏を任命するために地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第1項の規定により議会の同意を求めるものです。

〈認定第1号〉

〈原案認定〉

平成25年度古平町各会計歳入歳出決算の認定について

平成25年度各会計決算を地方自治法第233条第3項の規定により、議会の認定に付すものです。



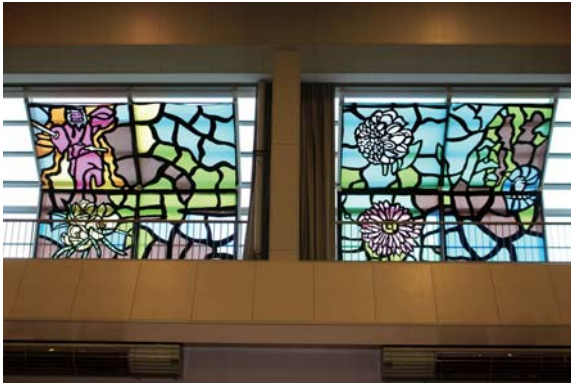
全校生徒61人がステージ発表

第67回 古中祭

10月5日、中学校で第67回古中祭が行われ、生徒は大勢の保護者や地域住民の前でステージ発表を披露しました。

開会式後、古中祭に向けて1年生から3年生28人が10日間かけて作成した縦割創作ステンドグラスが発表され、体育館後ろの窓に飾られた作品を見て観客から拍手が送られていました。

町の出来事



体育館後ろに飾られた縦割創作ステンドグラス



3年生ステージ発表
劇「コバルトの海」

ステージ発表では、各学年の劇や吹奏楽部の演奏が行われたほか、全校生徒61人が一つになるための全校合唱が昨年に引き続き行われ、指揮や伴奏も生徒が行い「大切なもの」「輝くために」の2曲を歌い上げていました。

副実行委員長の2年生、森綾菜さんは「3年生の劇が特に感動した。来年は自分たちも3年生のように感動できるものを発表したい」と話していました。

子どもの事故やケガに対処する

子育て講習会 「救急講習会」

10月7日、子育て支援センターで救急講習会が開かれました。

日常、起こり得る乳幼児の事故やケガに対処する方法を学ぶことが目的で、同センターに登録している9人の保護者が参加しました。

講師の古平消防の救急係2人が、テキストを用いながら心肺蘇生法を説明し、参加者はダミー人形やAEDを使って心肺蘇生法の仕方などを実際に体験しました。



その後、保護者は喉に異物が詰まったときの除去方法や火傷をしたときの対処法などを消防職員に質問し確認していました。

3人の子どもを持つ吉田あかねさん（新地町）は「初めて参加したが、日ごろどうしたら良いのだろうと思っていたことを聞くことができたのでよかった」と話してくれました。

9/17 (水)

「自分たちで作ったカレーは美味しかった」～幼児センターみらい 収穫祭



秋の収穫の喜びを知り調理の楽しさを知るために9月17日、幼児センターで収穫祭が行われました。それぞれのクラスで育てて収穫した、じゃがいも、にんじん、たまねぎを全員で調理しカレーライスにして給食の時間に食べました。

たいよう組とつき組の園児は包丁などを使ってじゃがいもやにんじんの皮をむき、食べやすい大きさに切りました。4歳以下のにじ組とほし組の園児はたまねぎなどの皮むきをしました。たいよう組の藤澤聖那ちゃんは「野菜は上手に切れたし、自分たちで作ったカレーライスは美味しかった」と話してくれました。

9/19 (金)

「記録更新を目指し一生懸命走る」～古平小学校 校内マラソン大会



9月19日、古平小学校で、校内マラソン大会を実施しました。体力増進を図ることを目的とし、今年で2回目の開催です。

大会は、校舎前の多目的運動広場内と広場外周を登り下りするアップダウンの激しいコースを、全学年広場内を2周と、1～2年生は外周を2周、3～4年生は外周を3周、5～6年生は外周を4周しました。児童たちは運動広場を走るなどして体力づくりに励んだ成果を発揮し、一生懸命に走っていました。

今年からは、新記録を出した児童にメダルも贈られ、6年生で一位だった小林颯くんは「練習の成果が出せた。一位になれてうれし」と話してくれました。

9/23 (火)

「惜しくも1回戦敗退」～第34回吉野旗争奪少年野球大会



9月23日、中島スポレク広場で「吉野旗争奪少年野球大会」が行われました。同大会は今年で34回目の開催で、近隣市町の8チームが参加しました。

古平野球スポーツ少年団は、1回戦で余市沢町地区野球スポーツ少年団と対戦しました。両チームともヒットや盗塁、エラーも絡み得点を重ね、大会規則により1時間30分の時間制限で5回戦までとなりました。

試合結果は10対10の引き分けで、両チームの選手がくじを引き、抽選を行った結果、古平野球スポーツ少年団は1回戦敗退となってしまいました。

9/24 (水)

「早く高台に逃げる」～小学校 地震・津波避難訓練

9月24日、古平小学校で地震・津波の避難訓練が行われました。毎年、地震の避難訓練は行っていますが、津波を想定して高台のグラウンドまで避難したのは今回が初めてです。

児童たちには避難訓練を実施することとは知らせずに抜き打ちで行い、校内放送や先生の指示に従い机の下に隠れ、揺れが収まった後、学校横高台にあるグラウンドまで避難しました。全校児童96人が海拔38mのグラウンドへ早歩きで5分で避難完了しました。

訓練終了後、野島照久校長は「東日本大震災は何百年に1回の津波だったかもしれませんが、古平でもいつ起きるか分かりません。押さない、駆けない、しゃべらない、戻らないの「おかしもの約束」を守って高い所に早く逃げましょう」と児童たちに呼びかけていました。



9/30 (火)

「20%のプレミアム率 3000組」～商工会プレミアム商品券

9月30日、町内商店での購買力のアップをねらいとした商工会プレミアム商品券が文化会館と漁港会館で売られ、大勢の町民が買い求めました。

今年度2回目の販売で、プレミアム率は20%、五百円券と千円券を組み合わせて1組1万円の3000組を用意し販売しました。年金受給者や歩行困難者は事前予約が可能で、予約した方に限り商工会で配達も行いました。

販売初日は文化会館で1267組、漁港会館で543組が売れ、予約もあわせると2047組428世帯に販売されました。



10/1 (水)

「6組の親子が交流」～すくすく教室

10月1日、子育て支援センターで、1歳までの子どもとその親を対象とした「すくすく教室」が開催されました。今回は、5か月から10か月までの子どもとその母親6組が参加して「歯と虫歯予防」「離乳食」について学びました。

町の健康推進係から、歯の役割や虫歯にならないためにはどうしたらよいかなどの説明があり、その後、栄養士から離乳食を試食しながら丈夫な歯をつくる食べ物やおやつと虫歯についての指導がありました。

もうすぐ8か月になる娘と参加していた大山美奈子さん（港町）は「初めての参加でしたが、とても勉強になりました」と話してくれました。



国や道などからのお知らせ

【財務行政懇話会の開催】

財務省では「財務行政懇話会」を次のとおり開催いたします。

○日時 平成26年11月5日（水）

午後1時30分～午後3時

○場所 古平町文化会館 オリオン

○内容 我が国の財政事情等についてほか

○講師 財務省 北海道財務局
小樽出張所長 岡田 一則

○申込み方法 どなたでも参加できますので、参加を希望される方は、事前に電話にて申し込み願います。

◇申込み・お問合せ先

財務省 北海道財務局小樽出張所
総務課 担当 重松、小谷

☎0134-23-4103

【年末調整等説明会の開催】

余市税務署では、平成26年分年末調整にかかる説明会を次のとおり開催いたします。

○日時 平成26年11月19日（水）

午後2時から（2時間程度）

○場所 古平町文化会館

○内容

- ・「年末調整の仕方」の上映
- ・源泉徴収事務の改正点について
- ・法定調書の提出についての留意

事項

- ・e-taxの利用方法（ダイレクト納付・法定調書の作成・提出等）

◇お問い合わせ先

余市税務署 調査部門

☎22-2093

（音声案内の後に「2」を選択してください。）

※年末調整関係用紙等は国税庁のホームページをご覧ください

http://www.nta.go.jp/

源泉所得税の納付は、イータックスを利用し、ご利用の金融機関から、期日を指定して納付ができるダイレクト納付が便利です。

【無料登記相談会を開催します】

司法書士、土地家屋調査士による登記相談所を開設します。

○日時 平成26年11月9日（日）

午前10時から午後4時

○場所 古平町文化会館

○相談内容

- ①すでに所有者は亡くなっているのに、相続登記をしていない。
- ②お隣の土地との境がはつきりしない
- ③壊した建物の登記がそのままになっている
- ④生前に土地を孫に譲りたい
- ⑤ローンを返し終わったのに、担保

保がそのまま残っている。どうしたらいいの？

など、登記の専門家である司法書士、土地家屋調査士がお答えします。

○申込方法 原則予約制となっておりますので、左記問い合わせ先まで連絡願います。予約受付は11月

7日（金）午後5時まで

○その他 相談は無料で、秘密は厳守します。

◇申込み・お問合せ先

札幌法務局民事行政調査官室

☎011-709-2311

（内線2153）

【11（いい）月30（みらい）日は「年金の日」です】

年金記録や将来の年金受給見込み額を確認し、未来の生活設計について考えてみませんか。

「ねんきんネット」をご利用いただく、いつでもご自身の年金記録を確認できるほか、将来の年金受給見込み額について、ご自身の年金記録を基に様々なパターンの資産をすることもできます。

「ねんきんネット」については、日本年金機構のホームページでご確認いただくか、小樽年金事務所にお問い合わせください。

◇お問合せ先

小樽年金事務所

☎0134-23-1189

日本年金機構HP

http://www.nenkin.go.jp/n/w/w/n_net/index.jsp

【全国一斉「女性の人権ホットライン」強化週間のお知らせ】

平成26年11月17日（月）～11月23日（日）までは、全国一斉「女性の人権ホットライン」強化週間です。

職場におけるセクシュアル・ハラスメント、夫やパートナーからの暴力など、女性の人権に関する悩みごとや心配ごとについて、法務局職員や人権擁護委員が相談時間を延長して対応し、解決に導きます。

相談は無料で、秘密は厳守されま。お気軽にご相談ください。

○相談時間

11月17日（月）～21日（金）

午前8時30分～午後7時

11月22日（土）～23日（日）

午前10時～午後5時

◇お問合せ先

専用相談電話で、最寄りの法務局・地方法務局につながります。

☎0570-070-810

【映画「めぐみー引き裂かれた家族の30年」上映会の開催】

北朝鮮による拉致問題についての認識と理解を深めていただくことを目的に、政府拉致問題対策本部との

共催により、映画「めぐみー引き裂かれた家族の30年」の上映会を開催します。

○日時 11月8日(土)
午後2時〜4時

○場所 小樽市学習プラザ レピオ
(小樽市立稲穂小学校1階)

○参加料 無料(定員100名)

○申込締切 10月31日(金)まで

○申込方法 小樽市開催と明記の上、氏名、住所、電話番号を左記

申し込み先までお知らせください。

◇申込み・お問合せ先

北海道総合政策部知事室国際課
国際企画グループ

☎011-204-5113
FAX 011-232-4303

【認知症医療連携講演会(公開講座)の開催】

俱知安保健所では、地域で、認知症の方が暮らしていくために、どのように地域で見守り、支えていくか関係者、一般住民の方(認知症の家族の方並びに介護の経験のある方)が学ぶ機会として、認知症医療連携講演会を開催します。

○日時 11月26日(水)
午後2時〜4時30分

○場所 俱知安町公民館中ホール

○内容 報告「北海道認知症疾患医療セン

ターについて」

講演「認知症の方を地域全体で支えていくために」認知症疾患医療センターと砂川市との連携から」

○参加対象 保健福祉医療関係者、一般住民の方(認知症の家族の方並びに認知症の介護の経験のある方)

○参加料 無料

○申込方法 申込不要

◇お問合せ先
北海道俱知安保健所健康推進課健康支援係

☎0136-23-1957

【お子さまの教育資金を「国の教育ローン」がサポート！】

「国の教育ローン」は、高校、短大、大学、専修学校、各種学校や外国の高校、大学等に入学在学するお子さまをお持ちのご家庭を対象とした公的な融資制度です。

○融資額

1人につき350万円以内

○金利 年2.3%

※母子家庭の方などは年1.95%
(平成26年8月13日現在)

○返済期間 15年以内

※母子家庭の方などは18年以内

◇お問合せ先

日本政策金融公庫
教育ローンコールセンター

☎0570-008656又は

☎03-5321-8656
HP「国の教育ローン」で検索

【各種自衛官等の募集】

○自衛官候補生(男子)、陸上自衛隊高等工科学校生徒(一般・推薦)を募集します。

◇お問合せ先

自衛隊札幌地方協力本部 小樽地域事務所(小樽市稲穂2-22-4樽石ビル2F)

☎0134-22-5521

【動物駆逐用煙火(連続発射式)による事故が多発しています！】

動物駆逐用煙火(連続発射式)は、一般で販売されているがん具煙火と異なり、大きな音を発生するため、威力の強い火薬が用いられており、万一、製品の異常な破裂等が発生した場合には、指や手の一部を欠損したり、飛散物や爆発音により重篤な怪我をするおそれがあります。取扱説明書の使用方法を遵守するとともに、次の注意点を厳守してご使用願います。

①品は直接持たず杭などに固定して使用する

②止むを得ず手に持って使用する場合は次の注意点を厳守すること

・販売業者提供の専用手持ちホルダーを使用し、使用時はホルダー

底面に手が触れず、可能な限りホルダー下側を持ち使用すること
・煙火が手元で暴発した場合ホルダー底面が抜ける危険性があるので、底面は体に向けず、できる限り体から離して使用すること
・ホルダーの変形、さび、ひび割れ等の有無を確認し、異常があるものや、過去に一度でもホルダー内部で製品が破裂等の異常燃焼したものは、使用しないこと
・ホルダーは、製品が手元で破裂した場合等の被害を完全に防ぐことはできないため、ゴーグル、耳栓、皮手袋等の防護具を併用すること

製品名	販売元	連絡先
駆除雷5発	(株)ライズ	086-295-1179
閃光珠5R	(株)芳賀銃砲火薬店 芳賀	022-262-1151

◇お問い合わせ先
経済産業省北海道産業保安監督部 保安課

☎011-709-2311

第39回 古平ロードレース大会



体育の日の10月13日、中島スポーツレクリエーション広場を発着点に第39回古平ロードレース大会（実行委主催）が開かれました。

高野俊和実行委員長は「自分の体力に合わせたそれぞれの走り方で、楽しい1日にしてほしい」とあいさつ。

市民ランナーや親子連れなど町内外から1142人が参加し、2〜15歳の走るコースの参加者は、赤や黄色に色づき始めた道道998号を力走し、沿道の通行人から「がんば

れー」と声援を受けていました。また、2、4歳の歩くコースの参加者は、秋の風景を眺めながら家族や友人と楽しくおしゃべりをし、自分のペースで歩いていました。

レース後は、主催者から恒例の豚汁も振る舞われ、出場者は空腹を満たしていました。

6歳を走った中学3年生の堀龍聖君は「部活を引退して数ヶ月経つが、体力を落とさず、目標の30分を切る事ができたのでよかった」と話してくれました。



なお、大会の開会式前に古平町体育連盟より、この1年間、スポーツの振興等に貢献された9名と1団体の表彰もありました。表彰者は次のとおりです。

平成26年度 体育連盟表彰

受賞名	受賞者名	内容
スポーツ振興賞	細川文佳	ソフトバレーボール普及振興に寄与
	八幡篤実	ソフトバレーボール普及振興に寄与
	大川原久夫	柔道の普及振興に寄与
	佐藤俊一	パークゴルフの普及振興に寄与
スポーツ賞	大島遥 希 木村颯真 (古平中学校)	後志中体連バドミントン大会ダブルス優勝 全道中体連バドミントン大会ダブルス出場
	堀龍聖 (古平中学校)	後志中体連バドミントン大会シングルス優勝 全道中体連バドミントン大会シングルス出場
	古平中学校 男子バドミントン部	後志中体連バドミントン大会団体優勝
	相内文代	アユの郷パークゴルフ(後志)大会優勝
	相内祐二	アユの郷パークゴルフ(後志)大会優勝



11月の休日当番病院

◆ 11月2日(日)

よいちクリニック (☎ 21-4570)

◆ 11月3日(月)

森内科胃腸科医院 (☎ 32-3455)

◆ 11月9日(日)

脳神経外科よいち港南クリニック (☎ 21-5566)

◆ 11月16日(日)

わたなべ内科医院 (☎ 22-3989)

◆ 11月23日(日)

北郷耳鼻咽喉科医院 (☎ 23-5533)

◆ 11月24日(月)

佐野内科クリニック (☎ 22-7001)

◆ 11月30日(日)

勝田内科皮膚科クリニック (☎ 22-3843)

※当番医の診療時間は9時〜17時まで
※夜間については余市協会病院で急患に限り診療しております。

診療時間 午後6時〜翌日午前7時
診療科目 内科、小児科、外科、
整形外科

ふるびら 元気っ子

町内に住む満1歳になる
子どもを紹介します。
今月号は10月に誕生日を
迎えた子どもです。



徳田 そうた 奏汰 ちゃん
10月22日生
保護者 祥さん
 晏那さん
 (旭町)
(晏那さんより)
兄弟想いの優しい子に
育ってほしい

第16回古平町長杯 パークゴルフ大会



10月5日、あいらんど広場パークゴルフ場で第16回古平町長杯パークゴルフ大会が開催されました。参加者32人が秋の心地よい日差しの中、熱戦を繰り広げました。

大会結果

【男子の部】参加者数19人

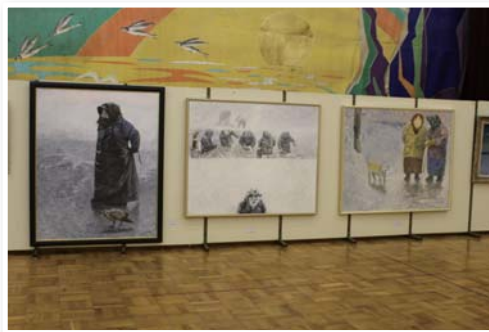
- 1位 梅野良基 108打
- 2位 平田重雄 109打
- 3位 佐藤俊一 112打
- 4位 相内祐二 112打
- 5位 齊藤行幸 114打

【女子の部】参加者数13人

- 1位 寺田和子 119打
 - 2位 鷹薮佳代子 119打
 - 3位 成田幸子 120打
 - 4位 岩井笑美子 121打
 - 5位 渡邊とう子 123打
- ※男子の部の3・4位、女子の部の1・2位はプレーオフで順位決定

創立40周年記念

第45回古平美術協会展



穂井田会長は「会員のみなさんが描き続けてくれたおかげで40周年を迎えることができました。色彩豊かで躍動感あふれる個性的な作品も多くなってきたっており、これからも期待できると思います」と話してくれました。

10月2日から5日までの4日間文化会館太陽ホールで、古平美術協会の作品展である「古平美術協会が開かれました。」同協会は今年で創立40周年、同展は45回目の開催となります。会場には会員の油絵31点のほか、創立40周年記念として、同協会の穂井田会長が余市町で開いている「アトリ工麿」の教室生徒作品16点も併せて展示されました。



いきいき・ほのぼの文芸

古平町岬短歌会



芙蓉咲き逝きし妹の法名に賜りしかな釈尼芙蓉と
金子寿子

区切り良く田畑のつづき歩む先そよ風の中稲穂のゆるる
坂本信子

山の端にうつすら見えし十月月入り日のあとを光り輝く
鈴木時子

あんなにも暑かった日何処へやら白めく緑の今朝の海色
田中香苗

文月の夕暮れ頃も日差し強く部屋三十度サウナの如し
寺田カツ子

古平俳句会

トンネルを出る度秋の波白し
砂浜に染み行く秋の潮の色
渡辺嘉之

高窓に入り来る光良夜かな
芒原半身隠れ空の青
山口悦子

ウオーキング重ねし道も秋涼し
風岬碎けるしびき二ツ星
高橋重子

涼風や岬の波の色を変え
明月やビルの谷間で一休み
山口哲

悲しげに淋しげに聴く蟲の声
荒磯や大波小波秋の声
室谷弘子

妹は姉をなだめて蜻蛉追ふ
良き時代思いおこせし初月夜
仲谷比呂子



町長室から 雑感

7月号でも異常気象に触れてみたが、やはり日本列島今年も災害の当たり年のようなだ：

…近くでは、記録的な大雨によって広島市内で山津波が発生し、多くの住家や人命が一夜にして失われたのがまだ記憶に新しく、木曾御嶽山は何の前触れもなく噴火（水蒸気爆発）を起こし、火山災害には例を見ない多くの犠牲者が出たところである。

また、この秋は「スーパー台風」と言われるほどの超大型の台風が続けざま日本列島を横断して北海道東海上に抜けたのであるが、比較的犠牲者は少なかったものの列島の広範囲に亘ってさまざまな被害をもたらしているのである。

ただ異常気象もさることながら、いま新たに恐怖を感じ始めたものがある…：西アフリカが発症源といわれるこの世で最も感染力の強いエボラ出血熱への感染なのだ。わが国からも医師団や看護団が支援に行っているが、これらの二次感染が心配されており、国を挙げての万全な予防対策が求められているのである。

古平町長 本間 順司

ご寄付いただき誠にありがとうございました(敬称略)

◎現金

54,000円
古平中学校十期会
札幌の集い
代表 仲谷定幸(銀座)
10,000円
佐藤 裕美(本陣)

おたんじょうおめでとう

氏名 生年月日 保護者 町内
荒谷 連音ちゃん 9・20 紀彦さん 浜三

冥福をお祈りいたします

氏名	年齢	死去月日	町内
佐藤 豊さん	74歳	9・21	本陣
畑澤民之助さん	90歳	9・29	旭町
木村千代子さん	77歳	10・7	泥の木
藤野 侑子さん	81歳	10・10	浜五

町の人口と世帯数

	前月比
人口 3,419人	(-6)
男 1,610人	(-1)
女 1,809人	(-5)
世帯数 1,843世帯	(-5)
外国人 27人	(0)
男 2人	(0)
女 25人	(0)

(平成26年9月末日現在住民基本台帳人口)